

第5章 区民・事業者の行動を 支える区の実践

国連児童基金（ユニセフ）の報告書⁸では、先進国の子どもたちの環境課題に関する認識について調査した結果として、日本の生徒の環境問題に関する認知度が平均を大きく下回っていることが報告されています。世界において豊かで発展した国として位置付けられる日本においても、子どもの環境教育に関する分野では、世界に遅れを取っているという現実があります。

このような背景を踏まえ、今後、江戸川区で地球温暖化対策に取り組んでいくうえで、これからの社会を担う子どもたちをはじめ、区民の環境に関するリテラシーの底上げを図るための学びや体験の機会づくりが極めて重要であると考えられます。

また、温室効果ガス削減を実現するためには、区民や事業者の積極的な取組を促進しなければなりません。地球環境に関する理解促進と合わせて、区民や事業者のインセンティブとなるような施策の実施や仕組みづくりの検討を継続していくことが必要です。

さらに、地球温暖化対策を強力に推し進めるためには、区の積極的な取組が欠かせません。区が率先して環境保全や環境に配慮したまちづくりに取り組むと同時に、区が行う事業から排出される温室効果ガスを削減するための各種取組を展開していく必要があります。

本章では、区民一人ひとりや事業者による個々の取組を牽引するとともに、主体間の連携・協働を支え、区民や事業者と一体となって温室効果ガス排出を削減するために区が行う取組を示します。

区の実施の基本方針

1 学びや体験の機会をつくれます

2 区民・事業者の取組を支援します

3 環境を保全し活かすまちをつくれます

4 区の事業活動に伴う温室効果ガスを減らします

⁸ ユニセフ・イノチェンティ研究所「イノチェンティ レポートカード 14 未来を築く：先進国の子どもたちと持続可能な開発目標（SDGs）」

1 学びや体験の機会をつくります



(1) 基本方針

えどがわエコセンターと協働し、地球温暖化対策に関する普及啓発や情報提供を活発にし、区民や事業者・地域とともに環境教育・環境学習の機会を増やします。

1 情報発信

広報えどがわ、区ホームページのほか、イベントやセミナーなど様々な機会を活用し、地球温暖化の現状や対策の効果などの情報を発信します。

2 講座・講習会の開催

環境に関する講座・講習会などを開催し、区民が環境問題について考え、行動する機会や場を提供します。

3 イベントでの啓発

区民まつりをはじめ、地域まつりや各種イベントを通して、省エネルギー行動や再生可能エネルギーなどに関する啓発を進めます。

4 取組の支援

様々な地球温暖化防止の取組を積極的に支援し、地球環境保全に関する区民の知識を深め、意識を高めます。

5 環境教育・環境学習

環境教育や体験型環境学習の場を提供し、次世代を担う子どもたちを含め、区民や事業者による地球温暖化対策のために行動するきっかけを作ります。

6 プログラムの整備と人材育成

地球温暖化防止のための活動や学習を促進するためのプログラムづくりや人材育成を進めます。

(2) 施策

ア 情報発信

【実施時期の表記について】

短：すでに取組をはじめており今後も推進する、または2020年度までに取組をはじめめる事業
長：2022年度までに取組方法を検討する事業

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
省エネルギー情報の提供	「エコタウンえどがわ推進計画」のPR	「えどがわ区民ニュース特集」を制作します。「広報えどがわ」で特集紙面を掲載します。	○	
省エネルギー活動の普及	生活スタイル見直し運動	江戸川版省エネガイドブック等を活用し、無理のない省エネルギー生活を自発的に行えるようアドバイスします。	○	
	中小事業者への省エネ診断の周知	東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)による無料診断制度等を活用し、事業所における省エネを図ります。	○	
	家庭へのエコ診断の周知	環境省による「家庭エコ診断制度」や東京都による「家庭の省エネアドバイザー制度」等を活用し、家庭エコ診断を通じた省エネを図ります。	○	
	事業者の省エネ支援	区内事業者や区民を対象とした講演会等を通して、省エネルギー活動の自発的な取組を促します。	○	
	ホームページ、情報紙の充実	区、えどがわエコセンターのホームページを充実させます。「エコちゃんねる」等の情報紙を発行し、区民の関心を高めます。	○	
図書館環境学習	図書館環境コーナーの設置	環境問題に関する資料コーナーを各図書館内に開設し、区民意識の高揚を図ります。	○	

イ 講座・講習会の開催

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
講座・講習会	環境講演会の開催	地球環境問題への関心を高め、実践に結びつく講演会を開催します。	○	
	環境講習会の開催	リサイクル実践講座や緑化講習会などのプログラムを企画・実施します。	○	
		家族とともに環境を学ぶことのできる親子講習会やワークショップを開催します。	○	
	出前講座	ごみ減量や3Rへの意識向上を図るため、町会や自治会に出向き講座を実施します。	○	
	廃棄物管理責任者講習会	廃棄物管理責任者に対して減量、適正処理等の講習会を実施します。	○	

ウ イベントでの啓発

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
省エネルギー活動の普及	「エコタウンえどがわ推進計画」のPR	各種イベント等で、「エコタウンえどがわ推進計画」のPRを行います。	○	

エ 取組の支援

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
省エネルギー活動の普及	省エネナビ の貸し出し	省エネナビを貸し出し、待機電力や通常の使用電力の見える化を進め、さらなる省エネにつなげます。	○	
	クールシェア、ウォームシェア の推進	区有施設を核としたクールシェア、ウォームシェアの仕組みづくりを検討します。		○

オ 環境教育・環境学習

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
総合人生大学・えどがわエコセンターとの協働	人生大学環境学習	授業の中に環境の視点を取り入れ、様々な角度から地球環境を考える機会を作ります。	○	
	協働事業の実施	環境に関心のある学生やOBによるまちづくり活動を支援し、えどがわエコセンターなどとの協働を進めます。	○	
小中学校環境教育	授業で学ぶ地球温暖化防止	地球環境に関わる問題について理解し、環境保全に主体的に取り組む意欲を育てます。	○	
	グリーンプラン推進校	えどがわエコセンターと共育・協働で環境学習を推進するモデル校で、学校の特色を活かした省エネルギー活動や壁面緑化、ごみ学習、自然観察活動等を活発にします。	○	
	適応指導教室の環境学習	適応指導教室での草花・作物の栽培活動を通じ、緑化と環境学習に役立てます。	○	
	環境学習出前講座	小中学校向けの環境プログラムを総合学習の時間などを活用して出前授業として実施します。	○	
3R・ごみ減量学習	副読本「えどがわくのごみダイエットにチャレンジ！」による学習	小学校4年生の全児童に配付する清掃事業関係副読本を活用し、社会科学習の中で3R・ごみ減量の必要性を学ぶほか、家庭科や総合的な学習の中でも活用して、意識の啓発を図ります。	○	
	情報誌「ごみダイエット」の発行	ごみ減量や3Rへの意識向上を図るため、情報誌を発行します。(年3回発行)	○	
	施設見学会	ごみ減量や3Rへの意識向上を図るため、リサイクル施設や埋立処分場の見学会を実施します。	○	

カ プログラムの整備と人材育成

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
環境教育・学習でのプログラムの整備	プログラムの作成	「もったいない運動」を中心に、世代に応じた環境教育用のプログラムを作成し、地球温暖化に取り組む人材を育成します。	○	
環境学習活動の支援	環境学習リーダーの養成講座	環境学習リーダー養成講座等の実施により、実践する区民の輪を広げます。	○	

えどがわエコセンターー環境学習の取組

江戸川区では様々な環境学習を実施していますが、行政や区民と協力し合って活動を行っている団体として「NPO 法人えどがわエコセンター」があります。

えどがわエコセンターでは環境についての知識や省エネの方法などを学ぶ「おきがる環境講座」(区委託事業)や、幼稚園・小中学校における環境学習を推進する「グリーンプラン推進校」、学校向けの環境プログラムを総合学習の時間やすくすくすくスクールの放課後教室などで提供する「出前授業」など、子どもから大人まで様々なメニューの環境学習を行っています。



おきがる環境講座



グリーンプラン推進校



すくすくスクール放課後環境教育



出前授業

出典：NPO 法人 えどがわエコセンター ホームページ

2 区民・事業者の取組を支援します



(1) 基本方針

地球温暖化問題に関する情報の提供や、活動に役立つ事業を進め、すべての区民や事業者・地域の取組を支援します。

1 再エネ・省エネ設備導入の促進

事業者の太陽光発電やコージェネレーションシステム、燃料電池などの再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入を促します。

家庭用の太陽光発電や太陽熱温水器、高効率給湯器などの再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入を促します。

2 もったいない運動の推進

えどがわエコセンターを中心に展開している「もったいない運動えどがわ」を、全区民が参加する取組として推進し、環境に配慮した暮らしを地域全体に拡大します。

3 環境に配慮する事業所の増加と取組の充実

省エネルギー・ごみ減量など、環境に配慮する事業所を増やし取組の充実を図ります。

4 環境にやさしい交通促進

ガソリンを使う量を減らすため、バスや地下鉄などの公共交通機関、次世代自動車や自転車の利用を促進します。

5 3Rの推進

事業所から出るごみを減らすため、簡易包装などの省資源の取組を進めます。
家庭から出るごみを減らすため、マイバッグの利用や徹底した資源の分別を推進します。

(2) 施策

ア 再エネ・省エネ設備導入の促進

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
再生可能エネルギー等の普及	一般住宅への普及策の検討	太陽光等、再生可能エネルギーの一般住宅への普及策の検討を進めます。		○
	住宅・ビル等への普及促進	東京都による「屋根ぢから」ソーラープロジェクト等の制度を活用し、住宅用太陽光発電・太陽熱利用の普及を図ります。	○	
	革新的なエネルギー高度利用技術の導入の促進	ヒートポンプなどの技術を活用した高効率給湯器や空調機などの導入促進を図ります。		○
	地中熱の利用促進	地中熱を利用した効率的な空調機の導入促進を図ります。		○
	エネルギーの面的利用の促進	燃料電池やガスコージェネレーションなどを効率よく運用するために、エリアでの導入促進を図ります。		○
	水素エネルギーの普及促進	水素エネルギーや燃料電池をテーマとした講演会の開催等を通じて、将来的な水素社会について区民の関心を高めます。	○	
省エネルギー設備等の普及	住宅への省エネルギー機器の普及の検討	住宅へのLEDや高効率空調などの省エネルギー機器の普及を検討します。	○	
	集合住宅へのLED照明の普及の検討	集合住宅へのLEDの照明機器の普及策を検討します。	○	
	エネルギー管理システムの普及	住宅や事業所の省エネを促進するため、HEMS・BEMS等の普及を図ります。またスマートメーターを活用した見える化の促進を図ります。		○
	スマートハウスの普及促進	太陽光発電設備や燃料電池、蓄電池等を効果的に活用することにより省エネを図るスマートハウスを普及促進します。		○
	マンションのスマート化	マンション全体をエネルギー管理することにより、無理のない節電を行うスマート化の促進を図ります。		○
	長期優良住宅の認定	良好に長く住み続けることで環境への負荷を軽減するなどの目的にそった住宅の建築に対する認定を行います。	○	
	低炭素住宅の認定	省エネルギー性能を備えた住宅を新築する際に認定を行います。	○	
省エネルギー情報の提供	エコカンパニーえどがわ	エコカンパニーえどがわ登録事業所の実績をホームページ等で公開します。	○	

イ もったいない運動の推進

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
生ごみのリサイクル	堆肥化講習会	えどがわエコセンターが実施する「生ごみ堆肥化リサイクル講習会」の参加者を増やし、家庭ごみの減量を図ります。	○	
料理教室	エコクッキング	省エネルギーやごみ減量等に配慮した料理教室を実施します。	○	

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
マイ箸	マイ箸キャンペーン	イベント等を通じ、マイ箸持参を呼びかけます。割り箸を使わない飲食店などの情報も紹介していきます。	○	
マイ容器	マイ容器の普及	コーヒーショップやデリカショップにマイカップやマイ水筒を持参し、プラ容器の使用を減らす取組をPRします。	○	
レジ袋削減	マイバッグキャンペーン	春の環境月間(6月)と秋の3R推進月間(10月)にあわせて商店街やスーパーマーケット、コンビニエンスストア等と連携したキャンペーンを実施します。	○	
	レジ袋削減作戦	マイバッグ運動を推進するスーパーマーケット、コンビニエンスストアに共通ステッカーを掲示し、レジ袋の使用を減らします。	○	
節電の継続	省エネ・節電キーブ行動の実践	東日本大震災以降に定着している区民・事業者の省エネ・節電の取組を継続します。	○	
地域との連携	学校版もったいない運動との連携	学校版もったいない運動と連携し、小中学校に“もったいない”を広めます。	○	
	商店街との連携	商店街の店舗に省エネやごみ減量を広めます。また、商店街のイベント等で利用者にも取組を広めます。	○	
	町会・自治会等との連携	環境をよくする地区協議会や各種団体と連携し、地域まつり等の機会に区民へもったいない運動を広めます。	○	
表彰	もったいない運動の表彰	省エネルギー・省資源・ごみ減量等に取り組んだ家庭や団体を表彰し、運動の拡大を図ります。	○	
事例紹介	区民・事業者の取組事例の紹介	区民や事業者によるもったいない運動の取組事例を集めて紹介します。	○	

ウ 環境に配慮する事業所の増加と取組の充実

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
エコカンパニーえどがわの拡大	拡大に向けた呼びかけと支援	エコカンパニーえどがわの拡大に向け、参加を呼びかけるとともに、融資制度などにより支援します。	○	
省エネルギー支援融資あっせん	地球温暖化対策取組企業支援融資	「エコタウンえどがわ推進計画」に即した、省エネルギー設備を対象とした融資制度を実施します。	○	
事業者の環境マネジメント認証取得促進	新製品開発・産学連携研究費等の助成	区内中小企業者のISO14001及びエコアクション21の認証・取得を促進します。	○	
運輸事業者のグリーン経営認証取得促進	グリーン経営認証推進	運輸事業者を対象にグリーン経営認証の取得を促進します。	○	
区内製造業の開発支援	エコ関連製品の開発支援	区内の中小企業がエコ関連製品を開発する際の支援について検討します。		○
森林吸収源対策	森林吸収源対策推進	カーボンオフセットの考え方により、他の自治体と森林整備と吸収量認定に関する協定を締結します。		○

エ 環境にやさしい交通促進

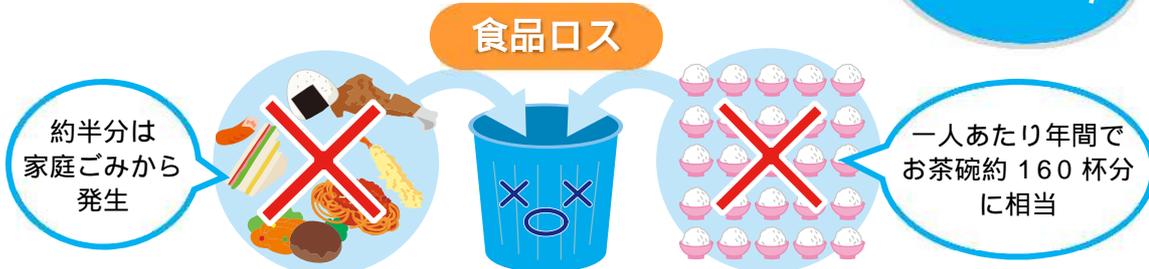
施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
公共交通機関の利用推進	バス専用レーンの整備	バス路線に専用レーンの整備を検討します。	○	
自転車利用の推進	レンタサイクル貸し出し事業	駅や公共施設等の地域拠点を中心にレンタサイクルを用意し、自転車の利用及びシェアリングを推進します。	○	
	自転車走行環境の整備	自転車走行帯にカラー表示・ピクトグラム（自転車ナビマーク）を表示し、利用しやすくします。	○	
自転車利用環境の整備	自転車通行帯の整備	駅へのアクセスを中心に自転車が安全に走行できる通行帯を整備します。	○	
	駐輪場の整備	自転車を利用しやすい環境づくりのため、駐輪場の整備を進めます。	○	
エコドライブの推進	エコドライブ実践に関する普及啓発	アイドリングストップや急発進の抑制など、燃料を効率的に消費するエコドライブについて普及啓発を行います。	○	
電気自動車の普及促進	急速充電設備の整備	区内において電気自動車用の急速充電設備の普及促進を図ります。		○
燃料電池自動車の普及促進	燃料電池自動車の普及促進	燃料電池自動車の普及啓発に資する情報提供を行っていきます。		○
公共交通の環境配慮推進	地球環境に配慮した公共交通及び施設の推進	バス事業者に対し、燃料電池バス、ハイブリッドバス、圧縮天然ガスバス（CNG）など、環境に配慮した車両の導入や、ソーラー内照式標識柱・上屋、照明のLED化を推進します。	○	
再配達削減	再配達削減対策の普及啓発	宅配ボックスの設置・利用や宅配便を1回で受け取るための工夫など、宅配便の再配達を減らすための対策に関する普及啓発を行います。	○	

オ 3Rの推進

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
ごみ減量キャンペーン	マイバッグ運動	マイバッグ運動を展開し、レジ袋の削減によるごみ量の減少をめざします。	○	
	長く使おう運動	「必要なものだけを」「大切に使う」ことを広くPRします。リサイクル・バンク、フリーマーケットやリサイクルショップ協力店の情報を発信します。	○	
	簡易包装運動	小売店での簡易包装やばら売りを奨励し、区民にエコストアの情報を提供します。	○	
	分別と資源利用	イベント等で発生する容器や紙の分別を徹底し、資源化を進めます。	○	
	小型家電リサイクルの推進	ごみの減量と資源の有効活用、埋立処分場の延命を図るため、小型家電に含まれているレアメタルをはじめとした金属のリサイクルを推進します。	○	
	食育の推進	「買いすぎない、作りすぎない、食べ残さない」の「3ない」の普及によりごみを減らす取組を推進します。	○	
	食べきり推進運動	外食時や家庭での食べ残しの削減を促進し、食品ロスの削減を図ります。	○	
	リサイクル本の配布	軽微な汚れや破損等の図書をリサイクル本として各図書館やイベントにて無料配布します。	○	

えどがわ食べきり推進運動

食べ残すなんて
もったいない!



日本全体では、年間約621万tの
まだ食べられる食品が捨てられています。
(環境省 HP より、2017年4月公表)

江戸川区では、年間約1.7万tの
まだ食べられる食品が捨てられています。
(環境省資料から推計、2016年度)

そこで、江戸川区では、食品ロスの削減に取り組んでいます!

えどがわ ^{さんまる}30・^{いちまる}10 運動!

宴会での食べ残しを減らそう!

おそとで実践! 30・10 運動

- ✧ 食べることができる量を注文しましょう
- ✧ 乾杯後、**30分間** は席を立たずに料理を楽しみましょう
- ✧ お開き前、**10分間** は席に戻って再度料理を楽しみましょう



家庭での食品ロスを減らそう!

おうちで実践! 30・10 運動

- ✧ 毎月**10日** は「もったいないクッキングデー」
- ✧ 野菜の皮や芯、残ってしまったおかずなどを活かした料理をしましょう
- ✧ 毎月**30日** は「冷蔵庫クリーンアップデー」
- ✧ 冷蔵庫などの賞味期限・消費期限の近い食品、眠ったままなかなか使わない食品を積極的に使った料理をしましょう

スイカやにんじんの皮、なすのへた、残りがちな乾物を活用したレシピを紹介!



その他の
食品ロス
削減の取組

食べきり推進店!

食べ残しの削減等に取り組む店舗を「食べきり推進店」として登録し、区ホームページ等で紹介しています。

違いを知って食品ロス削減
賞味期限：おいしく食べることができる期限。この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるわけではない。
消費期限：期限を過ぎたら食べない方がよい。

問い合わせ先
江戸川区環境部
清掃課ごみ減量係
TEL 03-5662-1689

3 環境を保全し活かすまちをつくります



(1) 基本方針

温室効果ガスを減らすために、区民や事業者の努力に頼るだけでなく、環境にやさしいまちづくりを進め、気候の変化に適応する仕組みをつくります。

1 低炭素なエネルギーを使うまちづくり

太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入など、低炭素なエネルギーを使うまちづくりを進めます。

2 水とみどりのまちづくり

屋上緑化や壁面緑化などを含め、建築物の環境性能向上のための取組を進めます。公園や緑地、親水緑道などの水と緑の空間を保全し広げます。

3 気候変動に適応する仕組みづくり

集中豪雨の発生や熱中症患者の増加など、気候変動による様々な影響への適応策の検討と導入を進めます。

4 3Rの実践による循環型まちづくり

3R：リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再利用）に広く取り組み、循環型まちづくりを進めます。

(2) 施策

ア 低炭素なエネルギーを使うまちづくり

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
エネルギー自給率の向上	再生可能エネルギー等の導入促進	太陽光発電やガスコージェネレーションシステム、燃料電池などの分散型発電設備の導入やソーラーシステム、ヒートポンプなどのエネルギー効率の高い設備の導入促進を図ります。		○
	スマートコミュニティの構築検討	再生可能エネルギー設備、省エネルギー設備とともに情報通信技術によりエネルギーを効率的に利用するスマートコミュニティの構築を検討します。		○
	災害拠点の整備	再生可能エネルギー等を利用した自立・分散型のエネルギーシステムによる避難所の整備を図ります。		○
商店街が実施するエコに関するイベント事業に補助	商店街エコイベント支援事業	商店街とえどがわエコセンターが連携して実施するエコに関するイベント等に対して補助金を支出します。	○	

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
商店街装飾灯のLED化	省電力型街路灯設置補助及び貸付	商店街が所有する装飾灯のLED化に必要な費用の一部に対する補助や、必要に応じて貸付を行います。	○	
コミュニティファンドの活用	コミュニティファンド活用の研究	ファンドの手法による再生可能エネルギーの導入などを検討します。		○
エコポイント	エコポイント算定方法の検討	もったいない運動に参加した区民等の温室効果ガスの削減に対する貢献度をポイントなどで表現できる算定方法を検討します。		○

イ 水とみどりのまちづくり

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
環境配慮型建築	建築物環境計画書制度の普及啓発	環境に配慮した質の高い建築物が評価される市場の形成と、建築主の自主的な取組を目的に東京都が建築物計画書制度を推進しています。都と連携しながら制度の情報発信と普及拡大を図っていきます。	○	
	建築物の省エネ基準に関する情報発信	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に基づく省エネ基準の適合義務等について、関連機関と連携しながら情報発信と啓発を行います。	○	
	住宅の環境性能評価制度の普及啓発	環境性能の高い住宅について長期優良住宅認定や低炭素住宅認定、環境性能表示などの制度を通じて普及拡大を図るとともに、関係機関と連携しながら、税制優遇や融資、緩和措置などの情報発信と啓発を行います。	○	
水とみどりのネットワーク	江戸川区みどりの基本計画の推進	水とみどりのネットワークで、自然とふれ合える「いのちのオアシス」をつくります。		○
屋上緑化、壁面緑化	屋上緑化、壁面緑化の普及促進	屋上緑化や壁面緑化の普及促進を進めるとともに、一定規模以上の開発に対しては関連条例に則り指導していきます。	○	
	みどりのカーテンの普及促進	窓の開口部を覆い、葉の蒸散効果による涼しさを生む「みどりのカーテン」の普及促進を図ります。	○	

ウ 気候変動に適應する仕組みづくり

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
環境配慮型道路整備	透水性舗装	雨水が地下浸透する透水性舗装で歩道の整備を行います。	○	
		降った雨が地下浸透する透水性舗装を公園の舗装に利用します。	○	
暑さ対策	クールスポット創出の検討と普及啓発	夏の暑い時間帯に一時的に暑さを回避することができる場所の創出と提供を検討します。また、区民等へクールスポットの利用を呼びかけます。	○	

エ 3Rの実践による循環型まちづくり

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
3Rの推進	リユースカップ	3Rに関する新しい情報を発信します。イベント時にはリユースカップなどを取り入れ、ごみを減らします。	○	
	講座講習	リフォーム講習会など、ものを大切に長く使う講座を支援します。	○	

コラム

古着・古布リサイクル回収

古着・古布リサイクル回収は、ごみの減量やもったいない運動の一環として行っている取組です。不用になった古着や古布を、古着・古布リサイクル回収に出してリサイクルしましょう！

回収できるもの

古着

Tシャツ、デニム、スーツ、着物、帯、セーター など



古布

ハンカチ、毛布、タオル、布団カバー、カーテン など



回収できないもの

泥や油汚れのあるもの、雨カッパ、くつ、ぬいぐるみ、枕 など

➡ **燃やすごみ**に出してください。



座布団、布団、マットレス、カーペット など

➡ **粗大ごみ**に出してください。



回収方法

洗って透明または半透明の袋に入れて移動回収車が待機している時間内に**直接**お持ちください。

回収場所や日時は区ホームページをご覧ください。 [江戸川区 古着回収](#) 🔍

- 注** 各施設での保管・受け取りは出来ませんのでご注意ください。
- 注** 自動車での持込みは事故防止や近隣住民の迷惑防止のためご遠慮ください。自動車での持込みは、葛西清掃事務所に限ります。
- 注** 資源・ごみの集積所に出されたものはリサイクルできません。
- 注** 家庭からでる古着・古布に限ります。



古着・古布の利用方法

中古衣料として、主に東南アジアで利用
ウエス(工業用ぞうきん)として利用
布をほぐして、わた状に戻して再生繊維として利用
(軍手、ソファのクッション材など)

江戸川区ごみ減量・リサイクル推進キャラクター
くるん



問い合わせ先: 江戸川区環境部清掃課ごみ減量係 TEL03-5662-1689

4 区の事業活動に伴う温室効果ガスを減らします



(1) 基本方針

省エネルギー改修や次世代自動車の導入など、区の事業活動に伴う温室効果ガス排出量の削減に率先して取り組みます。

1 建物の省エネ改修

省エネルギー改修を積極的に導入し、区施設のエネルギー消費量を減らします。

2 次世代自動車の導入

公用車に電気自動車や燃料電池自動車などの次世代自動車を導入します。

3 再エネの積極的な利用

区施設に太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーを導入します。屋上緑化・壁面緑化の導入を進めます。

4 グリーン購入の推進

物品等の調達時には、グリーン購入を進め、環境に配慮した製品を使用します。

5 省エネルギー活動の実践

庁舎などでの電気・ガス・燃料の使用量を減らすための省エネルギー活動を進めます。

(2) 施策

ア 建物の省エネ改修

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
省エネルギー改修	省エネルギー改修の実施	LED 照明や高効率機器の導入など省エネルギー改修を積極的に行います。	○	
	エコ建築	区施設工事の際は、外断熱工法や太陽熱反射塗装などの省エネルギー工法を導入します。	○	
	区道の街路灯のLED化	区道の街路灯を水銀灯から LED に改修します。	○	

イ 次世代自動車の導入

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
次世代自動車の導入	電気自動車などの次世代自動車導入	公用車の買い替え時にはハイブリッド車、電気自動車、燃料電池自動車などの次世代自動車導入を検討します。	○	

ウ 再エネの利用

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
再生可能エネルギーなどの導入	太陽光発電設備の設置	区建築物の新設時には、太陽光発電を取り入れます。	○	
	屋上緑化・壁面緑化	区建設物における屋上・壁面緑化、雨水利用を進めます。	○	
	公園等での太陽光・風力利用	公園等は、芝生や草地、土等保水性に配慮した表面整備とするとともに、時計や照明にも太陽光等の再生可能エネルギーの利用を進めます。	○	

エ グリーン購入の推進

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
環境に配慮した物品等の調達	グリーン購入	区が購入する物品は、環境に配慮した製品を選定します。また、区が使用する電気は、電気事業者の二酸化炭素排出係数、再生可能エネルギー利用割合等を評価の上、選定します。	○	
	国産木材の調達	区施設の建設等に木材を使用する際には、国産材の優先的な調達を検討します。	○	

オ 省エネルギー活動の実践

施策	事業名	実施イメージ	実施時期	
			短	長
江戸川区環境行動計画の取組の推進	江戸川区環境行動計画の取組の徹底	事務事業の実施に伴う温室効果ガス排出削減をめざした江戸川区環境行動計画の取組の徹底を図ります。	○	
すくすくエコスクール	児童とともに取り組む省エネルギー・3R	ごみの分別回収、裏面利用など、児童とともに省資源・3R を実践します。扇風機やみどりのカーテンなどにより、冷房だけに頼らない工夫をします。	○	